

【大阪モデル「警戒」（黄色信号）の指標の状況（R3.11.26より運用）】

| モニタリング指標 | 警戒の目安 | 1月3日 | 1月4日 | 1月5日 | 1月6日 | 1月7日 | 1月8日 | 1月9日 |
|----------------------------------|------------|------|------|------|-------|-------|-------------------------------------|------|
| ①直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 | 35人以上（※1） | 5.08 | 5.91 | 7.99 | 13.13 | 19.91 | 2日間で新規陽性者数が合計約1,450人を超過した場合、「35」を超過 | |
| ②病床使用率（重症・軽症中等症ともに確保病床数） | 20%以上 | 8.0% | 9.1% | 8.5% | 9.8% | 11.6% | | |
| ③重症病床使用率（府定義） （災害級非常事態の確保病床数） | 10%以上 | 0.3% | 0.3% | 0.3% | 0.2% | 0.2% | | |
| ④新規陽性者数の前週増加比 | 4日間連続で1を超過 | 2.59 | 2.64 | 3.01 | 4.57 | 5.75 | | |

- ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。**
 （※1）新規陽性者数が600人（注）に到達した時点における「直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数」（ただし、前週増加比2倍（過去の波の感染拡大当初の増加比）を想定）
 （注）「次の感染拡大期における保健所業務の重点化について」（第59回対策本部会議資料4-2）におけるフェーズ2（感染拡大期）の新規陽性者数に基づく
- 感染拡大傾向（注）において、いずれかの指標が「警戒の目安」を満たした場合、即時に「警戒」にステージ移行し、対策本部長が府民等へ感染リスクの高い行動回避の呼びかけを行う。（感染拡大傾向にない場合には、「警戒」へのステージ移行については、対策本部会議で決定）**
 （注）新規陽性者数の前週増加比が過去4日間連続で1を超過している場合とする
- まん延防止等重点措置又は緊急事態措置の要請については、感染拡大速度や規模、病床ひっ迫状況等を踏まえ、対策本部会議において決定する。**
- 「まん延防止等重点措置」・「緊急事態措置」適用区域に指定・解除される場合は、対策本部会議を開催し、ステージ移行の要否を決定する。

- 1月8日・9日の2日間の新規陽性者数が合計で約1,450人を超過した場合、「**①直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数**」が**目安「35人以上」を超過。**
- 現在、1月5日に244人、6日に505人、7日に676人と連日増加しており、1月7日時点の新規陽性者数の**前週増加比が過去最大の約5.8倍**（1/7時点）となるなど感染が急拡大中であることから、**数日中に上記目安に到達する可能性が極めて高い。**

⇒ 1月8日より「警戒」に移行（黄色信号を点灯）

※「警戒」移行に伴い、高齢者施設等の従事者への定期検査を再開（1月13日）